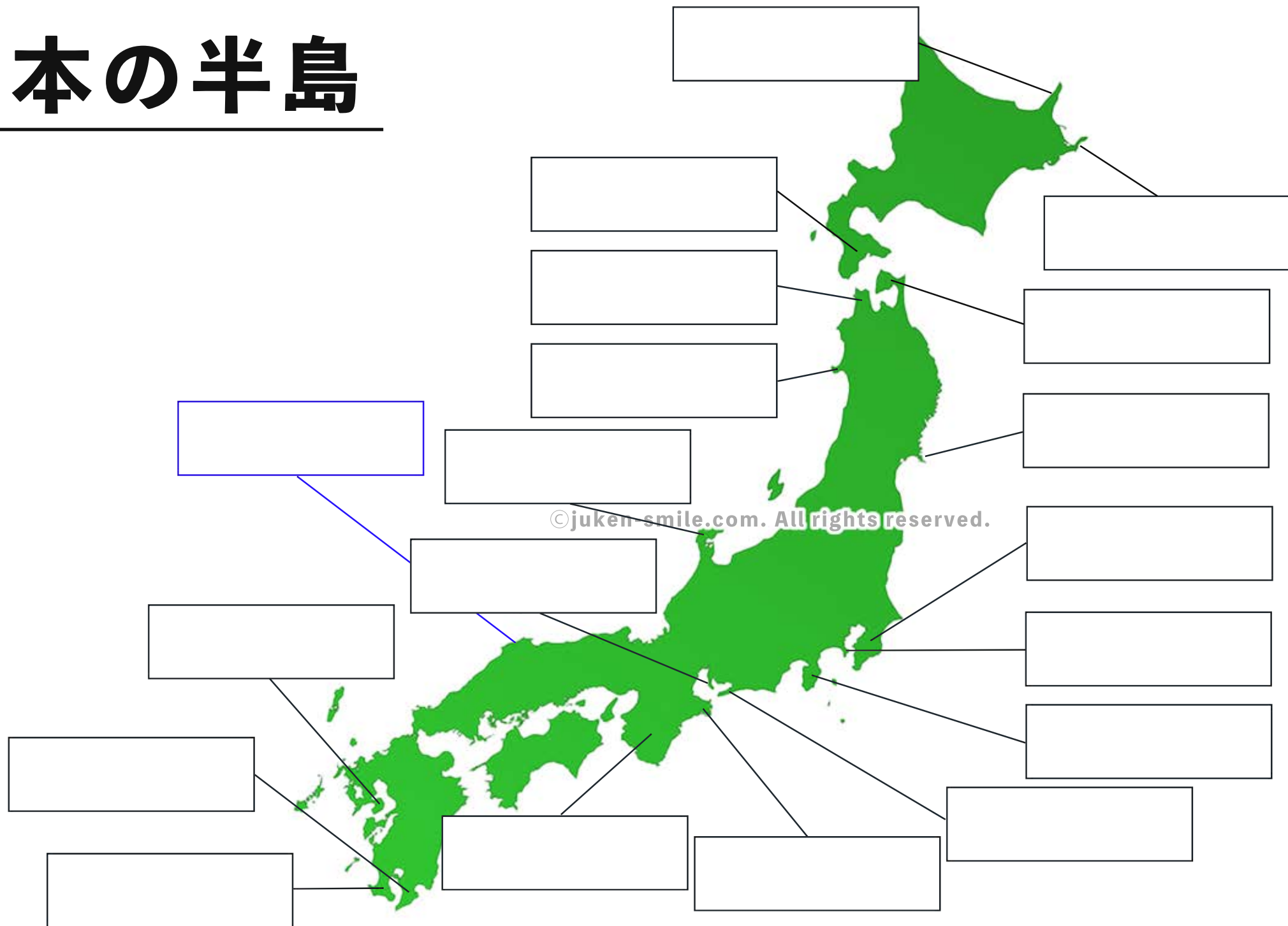
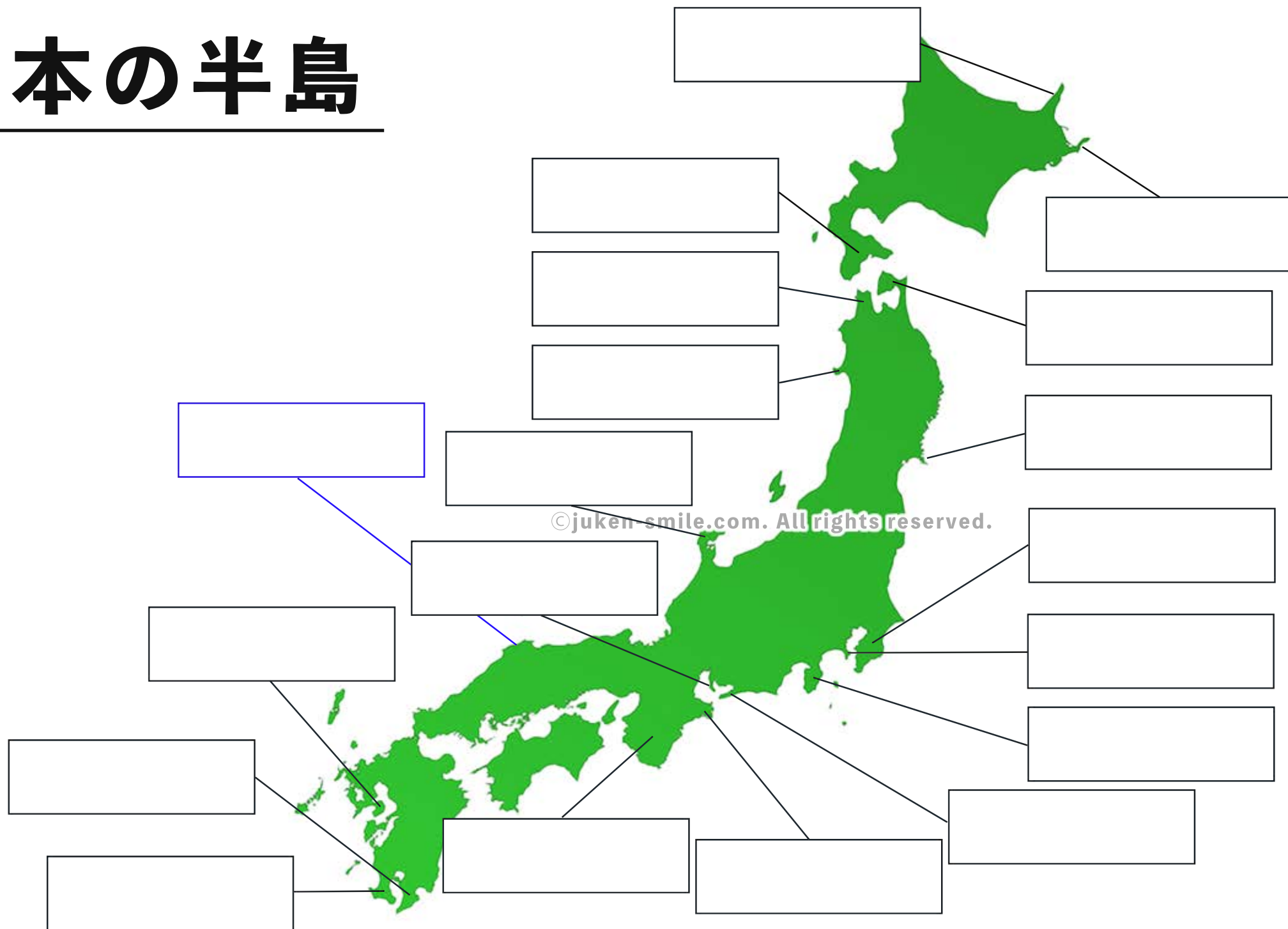


日本の半島



日本の半島



日本の半島について

1. 半島とは？特徴と役割を知ろう！

半島とは、三方を海に囲まれ、陸地から海に突き出した地形のことです。

つまり、半島は必ず海のそばにあり、海と深く関わる特徴を持っています。

このため、海上交通・漁業・観光といった活動が盛んな地域が多くなります。

たとえば、紀伊半島(和歌山・三重・奈良)は日本最大の半島で、熊野灘に面した沿岸部では漁業が発達しています。

黒潮の影響で魚が多く、タイやカツオなどがよくとれます。

さらに、紀伊山地には世界遺産「熊野古道」などの観光資源もあり、文化的にも重要です。

また、房総半島(千葉)では、東京湾と太平洋の間に位置しているため、内湾側では貿易港や工業地帯(京葉工業地帯)が発達し、外洋側では漁港が多く、水産業が盛んです。

黒潮と親潮がぶつかる海域に近く、魚が豊富に集まります。

能登半島(石川)は日本海に大きく突き出しており、風光明媚な海岸線や里山の風景が観光資源となっています。

さらに、冬の季節風の影響を受ける地域であり、自然環境に応じた伝統的な暮らしが今も残されています。

2. 半島を地図で覚えるコツ

半島はその形にも特徴があります。

房総半島は「カギのような形」、能登半島は「ハチの頭のような形」など、形をイメージと一緒に覚えると記憶に残りやすくなります。

さらに、地図で「海に向かって突き出している場所」に注目しながら、**周辺の海や海流、特産物、工業地帯とのつながり**まで考えると、単なる暗記ではなく「地理の力」が身につきます。

まとめ

- ✦ 半島＝海に突き出した地形。漁業・港・観光などの拠点になる！
- ✦ 海流や気候の影響を受けやすく、地域ごとの特色が生まれる！
- ✦ 地図では「突き出した場所」を探しながら、形と名前をリンクさせよう！

「地形」と「人の暮らし」の関係を意識して覚えることが、テストでも得点につながります。